

## ～ 栃木県 緊急事態宣言 ～

栃木県内の新型コロナの1日の新規感染者数が200人を超える日々が続く、医療提供体制が逼迫。感染しても、**「入院できない・療養者施設に入れない」**という、自身や家族の命や生活が脅かされる危機的な状況と共に、近所の方が、職場の同僚が、感染者や濃厚接触者となった話が多く聞かれ、**足元までコロナが迫ってきたと実感せざるを得ない状態**でした。

## ～ ある職員の体験談 ～

8月中旬の緊急事態宣言に入る直前、子供と同じ部活の友人の兄(中学生)がコロナ感染しました。症状は1日だけ37.2℃の発熱のみ。友人・父・母は陰性で濃厚接触者となり、14日間の隔離生活を強いられました。

「菌磨き・トイレ以外部屋から出ない」  
「外出せずネットスーパー利用」  
徹底した対策により、家庭内感染せずに済んだそうです。部活では「3時間の練習中マスクは外し、帰るときに着けていた」と聞き愕然としました。接触者の陰性を確認するまで不安でいっぱいでした。現在は、マスクを着用して練習しているそうで一先ず安心ですが、気は緩められません。陽性になった友人は味覚障害が残っているそうです・・・  
**かからないに越したことはない！** 痛感した出来事でした。



市販マスクを着用して吸い込む飛沫の割合(実測値)

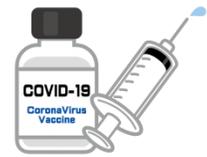


## ～ 感染対策とクラスターについて～

コロナワクチン接種がひと段落したところですが、今度は3回目のワクチン接種について議論を繰り返されています。早くも年明けになりそうです。コロナワクチンを接種したからといって完全にコロナ感染を防げるわけではありません。

### < ワクチンのメリット >

- ① **コロナ感染にかかりにくくなる**
- ② **重症化を防ぐことができる**



栃木県内でもワクチン接種有無にかかわらずクラスターが発生しています。

- 例) > 百貨店…休憩中のマスクを外した会話
- > 保育園…職員のお茶会での会話

感染力の強い変異株(デルタ株)の可能性があると同時に、感染対策の不十分が原因とみられています。秋冬にかけて気温が下がってくると、感染リスクが高まることも考えておかなければなりません。

そして、**これからもマスクの着用は必要です!** (図1参照)



## もし、透析施設でクラスターが発生したら・・・

患者さんから、体調不良の申し出がなかったら、あっという間に感染が広がります。

スタッフが感染し、複数人が濃厚接触者となったら、当施設で透析を続けることが難しくなります。皆さんに、安心・安全に受けていただく透析が困難になってしまいます。

**私たちスタッフも含め、患者さん一人一人が感染予防の意識を持ち続け、絶対に院内に持ち込まないようご協力をお願いします。**

## 注目! ～ブレイクスルー感染について～

群馬県伊勢崎市の病院で「ブレイクスルー感染」によるクラスターが発生しました。9月26日時点で**感染者32名、うち30名がワクチンを2回接種済み、1回以下が2名**でした。ブレイクスルー感染はワクチンを接種していても感染をすることです。ワクチンを接種していても、今までの感染対策は必要です。ワクチンをしたからと安心してマスクをはずした生活をするとうまの病院のような「ブレイクスルー感染」を起こす可能性があります。

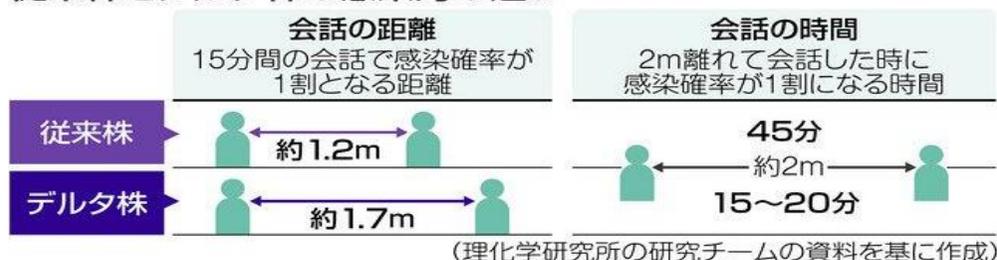
**3密を避け、マスクを着用する! ことが大切です。**

## ～変異株の種類～

従来株・・・1人の患者から平均1.5人～3.5人程度に感染  
 デルタ株・・・1人の患者から平均5人～9.5人程度に感染



## 従来株とデルタ株の感染力の違い



## ～新型コロナウイルスワクチンについて～

厚生労働省が今現在国内で承認されている3メーカーの他に、ノババックス製の新型コロナウイルスワクチンを1.5億回分契約したと発表しました。次の表で、ノババックスワクチンも非常に高い有効性があることが分かります。さらに、デルタ株に対しても有効性があることが治験で明らかとなっています。強い副反応やアナフィラキシーなどの報告も今のところありません。国内では、3回目の追加接種の使用を視野にいれているそうです。また現在、ファイザー製のワクチンが5～11歳を対象に接種できるよう申請中です。コロナワクチンの状況は日々変わりつつあります。

## ○日本で供給契約されているワクチンとノババックスワクチン

メーカー	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ	ノババックス
タイプ	mRNAワクチン	mRNAワクチン	ウイルスベクター	組み換えタンパク
有効性	約95%	約94%	約70%	90.40%
接種方法	2回(21日間隔)	2回(28日間隔)	2回(4～12週間間隔)	2回(21日間隔)
保管温度	マイナス70度	マイナス20度	2～8度	2～8度
日本の契約	1.94億回分契約締結	1億回分契約締結	1.2億回分契約締結	1.5億回分契約締結(22年)
副反応(発熱)	21.30%	61.90%	データなし	4.80%
日本の承認	承認済み	承認済み	承認済み	国内治験中

今後、新型コロナウイルスワクチンと季節性インフルエンザワクチンを合わせた混合ワクチンの開発が始まっています。アメリカのノババックス社がすでに開発を開始、続いてモデルナ社もmRNAベースの4価インフルエンザワクチンを作り、混合ワクチンの臨床試験を開始しています。



## ～インフルエンザワクチンについて～

昨年、新型コロナウイルス感染対策が功を奏し、インフルエンザの流行を抑えることができました。逆に、インフルエンザ株に対する抗体を獲得した人がほとんどいない状況でもあり、今年はいつものシーズン以上にかかりやすい人が多い見通しだと発表されています。

今年度は新型コロナワクチンの製造の為、例年よりインフルエンザワクチンの製造が少なくなる予定です。現在も見通しの立たない状況ではありますが、透析患者さんには受けていただけるよう調整中です。



## 事務からお知らせ

現時点で、ワクチン入荷日や助成制度が未定です。日程が決まり次第ご連絡いたします。今年度もコロナ対策で受付には行けませんので、廊下に臨時会計窓口を設置予定です。釣り銭が出ないよう準備のご協力をお願いいたします。



文責、担当:事務 武内実香 吉澤祐美 看護師 鈴木佳江